

代表質問

せい かい 政 和 会



議員 高橋 克己

- ・第2次総合振興計画後期基本計画について
- ・温泉施設について
- ・市が所有する温泉井について
- ・防災対策について
- ・デジタル化に向けて
- ・湯沢駅東西自由通路の有効利用について

湯沢市議会 ユーチューブチャンネル 代表質問の動画をご覧になれます。



質問 高齢化が進行し、公共交通、買い物、雪対策と市民への負担が大きくなってきている。今後の対応について伺う。

答弁 地域づくり支援や担い手育成、地域福祉の推進、若者の定住支援や産業活動の持続化など、地域の活力を維持できるような施策に取り組んでいく。

質問 高齢などによる運転免許の返納者の増加にどのように対応していくか伺う。

答弁 公共交通の充実・維持とともに、市内2地区をモデル地区とし、地域で公共交通を運営する形態を検討していく。

質問 地域おこし協力隊の活動が分かりづらい。積極的に活動状況を発信すべきと考えるが。

答弁 市民に理解と認識を得ら

れるように、より効果的な情報発信について、受け入れ担当課や関連課所と連携し、さらに充実を図っていく。

質問 市が運営している緑風荘、ほっと館の利用者数、市内で日帰り温泉に対応している民間施設の数と利用者数を伺う。

答弁 令和2年度実績として両施設合わせて約7万4千人、民間施設は21カ所、今年度の利用者数は9631人である。

質問 両施設は年間約4千万円以上の予算が計上され、安い利用料金で運営されている。これは民業の圧迫ではないか。

答弁 全く無いとは言いがたいが、民間施設の大半は宿泊業がメインと捉えている。

質問 適正な利用料金にした上

で、市民はマイナンバーカードの提示で、両施設を含む全ての温泉施設で料金の半額補助を受けられる制度を設け、収益が上がるようにすれば、施設の譲渡先も見つかるのではないかと。

答弁 国を挙げて対応しているマイナンバーカードの普及のほか、市の保養施設の有効活用も含め検討したい。

質問 3年ほど前にも井戸を整備しているが、令和4年度予算にも温泉井の関連予算が計上されている。事業内容を伺う。

答弁 小安地区の源泉2系統のうち、1系統に不具合が生じたため、今年度は新たに井戸を掘削し、令和4年度は配管工事などを計画している。

質問 本市の温泉使用料は1カ

月5500円である。他市町村の使用料と比較しても見直しは必要と考えるが。

答弁 メンテナンス、電気料など経常的コストも掛かっているため、現料金の3倍程度の中で改定を考えている。

質問 災害に備えた物資の備蓄状況について伺う。

答弁 本庁舎や各支所、指定避難所など15カ所に分散配置している。主食、飲料水、毛布、トイレ用品、発電機など19品目のほか、感染症対策用品などを備蓄している。

質問 防災無線の難聴地域などが指摘されているが、今後の対応について伺う。

答弁 設備の調整のほか、電話自動応答ダイヤル、市ホームページ、LINEなど放送後も内容を確認できるように防災無線を補完するシステムを導入した。今後も体制整備に努める。

質問 地域自主防災組織の設立が進められているが、今後の方向性について伺う。

答弁 現在、34組織を認定して